

# 危機管理医学講座

## Emergency, Disaster and Crisis Medicine

教授	奥寺 敬	Hiroshi Okudera
准教授 (併)	有嶋 拓郎	Takuro Arishima
講師	若杉 雅浩	Masahiro Wakasugi
講師	高橋 恵	Megumi Takahashi
助教	頭川 峰志	Mineyuki Zukawa

### ◆ 著 書

- 1) Asaka E, Okudera H, Wakasugi M, Takahashi M, Sakamoto M, Ikegami K. “KIDUKI” Course as Simulation Training for Patient Safety. Tokyo: IARMN(International Association of Risk Management in Medicine); 2015. in Clinical Management and Governance for Healthcare Risk and Crisis -4th World Congress of Clinical Safety; p. 65.
- 2) 奥寺 敬, 若杉雅浩. すぐに役立つ脳神経外科救急ハンドブック. 改訂第2版. 日本脳神経外科救急学会編. 大阪: メディカ出版; 2015. 循環管理 (ショック・血圧管理); p. 54-8.
- 3) 奥寺 敬, 高橋 恵. すぐに役立つ脳神経外科救急ハンドブック. 改訂第2版. 日本脳神経外科救急学会編. 大阪: メディカ出版; 2015. 切迫脳ヘルニアの対処; p. 70-3.
- 4) 奥寺 敬, 高橋千晶. すぐに役立つ脳神経外科救急ハンドブック. 改訂第2版. 日本脳神経外科救急学会編. 大阪: メディカ出版; 2015. ECS (Emergency Coma Scale); p. 347-9.
- 5) 若杉雅浩. PSLS ガイドブック 2015. PCEC・PSLS 改訂小委員会編. 東京: へるす出版; 2015. rt-PA を用いた血栓溶解療法の適応と禁忌; p. 182-7.
- 6) 若杉雅浩. PCEC ガイドブック 2016. PCEC・PSLS 改訂小委員会編. 東京: へるす出版; 2015. 急性意識障害の評価; p. 94-6.
- 7) 有嶋拓郎. PCEC ガイドブック 2016. PCEC・PSLS 改訂小委員会編. 東京: へるす出版; 2015. 熱中症・環境外傷; p. 213-7.

### ◆ 原 著

- 1) Sakamoto M\*, Okudera H, Wakasugi M, Takahashi M. Development of portable EEG electrode head set for stroke patient in Emergency Department. Cerebrovasc Dis. 2015; 39(Suppl 2): e328.
- 2) Sakamoto M, Okudera H, Wakasugi M, Takahashi M. Newly developed portable and wireless EEG electrode. Neuroepidemiology. 2015; 45: 346.
- 3) 奥寺 敬, 橋本真由美. 外来での観察力を鍛える! 災害時に備える! みんなの救急トリアージレベル判定ドリル 院内アキュイティ・トリアージレベル判定の方法を学ぼう!. EMERGENCY CARE. 2015 Feb; 28(2): 108-13.
- 4) 高橋千晶, 奥寺 敬. 神経蘇生ガイドライン II-1 急性意識障害. 日神救急会誌. 2015 Mar; 27(2): 4-8.
- 5) 奥寺 敬, 小池伸享, 西塔依久美. 子どもの病気のトリアージ-JTAS (Japan Triage and Acuity Scale) 構築までの経緯. チャイルドヘルス. 2015 May; 18(5): 326-9.
- 6) 高橋 恵, 奥寺 敬. 神経救急における NCSE. Brain Nerve. 2015 May; 67(5): 569-73.
- 7) 奥寺 敬. 社会で共有する緊急度判定と院内トリアージ. 茨城救急医会誌. 2015 Mar; 37: 3-14.
- 8) 高橋千晶, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 旭 雄士. Emergency Coma Scale の有用性の検証. 日神救急会誌. 2015 Jun; 27(3): 17-22.
- 9) 佐々木正弘, 奥寺 敬, 鈴木明文. ISLS ワークショップでの e-learning 開始について—北東北での試み—. 日神救急会誌. 2015 Jun; 27(3): 23-8.
- 10) 高橋 恵, 奥寺 敬. 初期臨床研修医に対する「神経蘇生シミュレーション研修」の試み. 日神救急会誌. 2015 Jun; 27(3): 29-34.
- 11) 山本陽子\*. 実践レポート チーム STEPPS の導入と実践「一師長」としての部署での実践「超過勤務ゼロ」につながるチーム力. 病院安全教育. 2015 Aug; 3(1): 40-3.
- 12) 軍神正隆, 奥寺 敬. 東京大学医学部附属病院救命救急センターにおける JTAS および POCT を用いた総合救急診療への取組と今後の発展性. RADIOMETER QA JOURNAL. 2015; 27: 2-7.

- 13) 高橋 恵, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 岩瀬正顕, 安心院康彦, 中村丈洋, 池田尚人, 伊藤勝博, 橋本真由美. 脳神経外科救急基礎コースの国内普及と国際展開. *Neurosurg Emerg.* 2015 ; 20 : 6-13.

#### ◆ 総 説

- 1) 若杉雅浩, 奥寺 敬. 熱中症の診断基準は、どのようなものか?. 熱中症診療ガイドライン 2015. 2015 Mar : 7-8.  
2) 若杉雅浩, 奥寺 敬. 熱中症の重症度はどのように判定するか?. 熱中症診療ガイドライン 2015. 2015 Mar : 8-10.

#### ◆ 学会報告

- 1) Okudera H, Sakamoto M, Wakasugi M, Takahashi M, Hashimoto M. PNLS:Scenario-based simulation training for neurotrauma care in a acute stage. 14th Asian Australasian Society of Neurological Surgeons; 2015 Apr 15-18; Jeju.  
2) Takahashi M, Okudera H, Wakasugi M, Sakamoto M, Hashimoto M. Primary neurosurgical life support course, neuroresuscitation-associated simulation training for neurosurgical emergencies. 14th Asian Australasian Society of Neurological Surgeons; 2015 Apr 15-18; Jeju.  
3) Sakamoto M\*, Okudera H, Wakasugi M, Takahashi M. Development of portable EEG electrode head set for stroke patient in Emergency Department. 24th European Stroke Conference; 2015 May 13-15; Vienna.  
4) Hashimoto M, Okudera H, Wakasugi M. Development of disaster training system using information and communication technology. 11th Annual Conference for the Australian Society for Simulation in Healthcare (SimHealth 2015); 2015 Aug 17-18; Adelaide.  
5) Okudera H. International Development of on-site ICT assistant system for emergency medicine. Subcommittee specialized in Compound Medical Care. 16th Japan (Hokuriku)-Korea Economic Exchange Conference; 2015 Aug 27-28; Ulsan.  
6) Arishima T. Analysis of the caring research in the mouth care. The 12th World Federation of Societies of Intensive Care Medicine; 2015 Aug 29-Sep 1; Seoul.  
7) Asaka E\*, Okudera H, Wakasugi M, Takahashi M, Sakamoto M, Ikegami K. "KIDUKI" Course as Simulation Training for Patient Safety. 4th World Congress of Clinical Safety; 2015 Sep 28-30; Vienna.  
8) Sakamoto M\*, Okudera H, Wakasugi M, Takahashi M. Newly developed portable and wireless EEG electrode. 5th International Conference on Neurology and Epidemiology; 2015 Nov 18-20; Gold coast.  
9) 安心院康彦, 金子一郎, 石川 久, 奥寺 敬, 坂本哲也. 急性意識障害初期診療研修におけるケースマップシナリオの活用ー急性意識障害チーム医療推進のためにー. 第 20 回日本脳神経外科救急学会 ; 2015 Jan 30-31 ; 東京.  
10) 岩瀬正顕, 栗栖 薫, 奥寺 敬, 加藤庸子, 松前光紀, 平山 晃, 池田尚人, 浅井昭彦. PNLS 開催状況 2014 年次報告. 第 20 回日本脳神経外科救急学会 ; 2015 Jan 30-31 ; 東京.  
11) 池田尚人, 奥寺 敬, 岩瀬正顕, 安心院康彦, 高橋 恵, 伊藤勝彦, 山田美貴人, 中村丈洋, 谷崎義生, 豊田 泉. Primary Neurosurgical Life Support (PNLS) の目的と意義. 第 20 回日本脳神経外科救急学会 ; 2015 Jan 30-31 ; 東京.  
12) 奥寺 敬, 岩下具美. サリンガス中毒の臨床像を共有するー松本・地下鉄両サリン事件の特殊性にとらわれないために. 第 20 回日本集団災害医学会総会・学術集会 ; 2015 Feb 26 ; 東京.  
13) 奥寺 敬. 大規模災害とリハビリテーション支援についてー救急医の立場から. 第 20 回日本集団災害医学会総会・学術集会 ; 2015 Feb 27 ; 東京.  
14) 高橋 恵, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 坂元美重. 脳神経外科領域のシミュレーション研修である Primary Neurosurgical Life Support (PNLS)の神経外傷における可能性. 第 38 回日本脳神経外傷学会 ; 2015 Mar 6-7 ; 徳島.  
15) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 坂元美重. 緊急度判定支援システム JTAS (Japan Triage and Acuity Scale)と脳神経外科診療の整合性を考える. 第 38 回日本脳神経外傷学会 ; 2015 Mar 6-7 ; 徳島.  
16) 奥寺 敬. 地域型救急医療と MC 体制ー開催地よりの発言. 平成 27 年度第 1 回全国メディカルコントロール協議会連絡会 ; 2015 Jun 4 ; 富山.  
17) 山田美貴人, 豊田 泉, 奥寺 敬, 井水秀英, 高橋 恵, 若杉雅浩, 中村丈洋, 安心院康彦, 池田尚人, 岩瀬正顕, 平山晃康, 加藤庸子, 島 克司. 神経蘇生の最前線ーPNLS の国際展開. 第 8 回日本蘇生科学シンポジウム ; 2015 Jun 4 ; 富山.  
18) 岩瀬正顕, 栗栖 薫, 黒岩俊彦, 奥寺 敬, 加藤庸子, 松前光紀, 浅井昭彦, 平山晃康. 神経蘇生の最前線ー日本脳神経外科救急学会・PNLS(Primary Neurosurgical Life Support)コースの開発経緯と開発状況. 第 8 回日本蘇生科学シンポジウム ; 2015 Jun 4 ; 富山.  
19) 伊藤勝博, 山村 仁, 大熊洋揮, 鈴木明文, 奥寺 敬. 神経蘇生の最前線ー地域における ISLS の取り組み 青森県

の現状と東北地方の試み. 第8回日本蘇生科学シンポジウム; 2015 Jun 4; 富山.

- 20) 安心院康彦, 秋山浩利, 奥寺 敬, 鈴木伸行, 田邊晴山, 堤 康彦, 濱崎典彦, 本多 満, 松田 潔, 南 和, 宮野 収, 山口 誠, 吉矢和久, 坂本哲也. 神経蘇生の最前線—PSLS(Primary Stroke Life Support)の改訂と展開. 第8回日本蘇生科学シンポジウム; 2015 Jun 4; 富山.
- 21) 奥寺 敬. 地方の視点から救急医療の現場を語る (会長講演). 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 22) 高橋絹代\*, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 長谷川友紀, 瀬戸加奈子. 救急医療現場におけるクオリティーマネジメントセミナー (QMS) 実施の効果. 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 23) 若杉雅浩, 奥寺 敬. 熱中症診療ガイドライン 熱中症の診断基準と重症度分類. 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 24) 橋本真由美, 奥寺 敬. 経口補水液の救急・災害医療への展開 災害時の脱水への対応と意義. 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 25) 清水敬樹, 中村俊介, 三宅康史, 若杉雅浩, 奥寺 敬, 白石振一郎, 小田康嵩, 鶴田良介, 北原孝雄, 横田裕行. 熱中症診療ガイドライン 熱中症ガイドラインにおけるCQ作成 (CQ5). 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 26) 三宅康史, 中村俊介, 横田裕行, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 北原孝雄, 坪倉正治, 小田康嵩, 清水敬樹, 白石振一郎. 熱中症ガイドライン 熱中症ガイドラインの策定経過と発生頻度、DIC治療. 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 27) 中村俊介, 三宅康史, 小田康嵩, 奥寺 敬, 北原孝雄, 清水敬樹, 白石振一郎, 若杉雅浩, 横田裕行, 有賀 徹. 熱中症診療ガイドライン. 熱中症における後遺障害および冷却目標温度、冷却時間に関する検討. 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 28) 小田康嵩, 鶴田良介, 三宅康史, 奥寺 敬, 中村俊介, 白石振一郎, 若杉雅浩, 清水敬樹, 登内道彦, 横田裕行. 熱中症診療ガイドライン. 熱中症発症の危険因子と新しい冷却法. 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 29) 高橋 恵, 奥寺 敬, 安心院康彦, 池田尚人, 岩瀬正顕. Primary Neurosurgical Life Support (PNLS)コースにおけるモジュールC: 脳ヘルニアと神経所見の意義. 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 30) 池田尚人, 奥寺 敬, 岩瀬正顕, 安心院康彦, 高橋 恵, 伊藤勝博, 山田美貴人, 中村大洋, 谷崎義生, 豊田 泉. 神経蘇生の視点で見た Primary Neurosurgical Life Support の解釈. 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 31) 岩瀬正顕, 栗栖 薫, 奥寺 敬, 安心院康彦, 池田尚人, 浅井昭雄. 脳神経外科初期診療コースの紹介. 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 4-6; 富山.
- 32) 奥寺 敬. 地方の視点から救急医療の現状を語る (会長講演). 第18回日本臨床救急医学会; 2015 Jun 5; 富山.
- 33) 有嶋拓郎. 集中治療室における安全な急性血液浄化法の運用. 第23回日本集中治療医学会東海北陸地方会総会・学術集会; 2015 Jun 20; 福井. (教育講演)
- 34) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 高橋 恵, 坂元美重. サリン中毒と瞳孔所見—松本サリン事件の臨床症例より. 第29回日本神経救急学会; 2015 Jun 19-20; 秋田.
- 35) 奥寺 敬. 迅速脳波スクリーニングの必要性和課題 (パネルディスカッション: 特別発言). 第29回日本神経救急学会; 2015 Jun 19-20; 秋田.
- 36) 有嶋拓郎. 口腔ケアとケアリング 文献による検討. 第12回日本口腔ケア学会総会・学術大会; 2015 Jun 27-28; 下関.
- 37) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 高橋 恵. 大学院医科学修士課程における教科「移植コーディネーター特論」の開設およびこれまでの受講状況—医療人養成の観点から—. 第28回日本脳死・脳蘇生学会; 2015 Jul 5; 名古屋.
- 38) 高橋 恵, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 坂元美重, 橋本真由美, PNLS委員会. 神経蘇生アルゴリズム学習ツールとしてのPNLSコースの意義. 第28回日本脳死・脳蘇生学会; 2015 Jul 5; 名古屋.
- 39) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 高橋 恵, 坂元美重, 橋本真由美, 木澤晃代. 緊急度判定支援システムJTASにおける意識障害のトリアージ. 第24回日本意識障害学会; 2015 Jul 24-25; 静岡.
- 40) 奥寺 敬, 岩下具美. 急性期意識障害患者における瞳孔観察の重要性—松本サリン事件の重症例の所見より. 第24回日本意識障害学会; 2015 Jul 24-25; 静岡.
- 41) 高橋 恵, 奥寺 敬, 坂元美重, 若杉雅浩. 脳神経外科医療安全における内在するリスク評価の重要性. 第74回日本脳神経外科学会学術集会; 2015 Oct 14-16; 札幌.
- 42) 若杉雅浩, 松井恒太郎, 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 坂元美重, 高橋 恵, 奥寺 敬. 胸骨圧迫の質の評価における計測機

器の有効性. 第43回日本救急医学会総会・学術集会; 2015 Oct 21-23; 東京.

- 43) 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 松井恒太郎, 高橋 恵, 坂元美重, 奥寺 敬. 医学生に対する地域医療実習の中での救急医療教育. 第43回日本救急医学会総会・学術集会; 2015 Oct 21-23; 東京.
- 44) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 高橋 恵, 坂元美重. WHOドラフトガイドラインの観点から見た調査制度の問題点(シンポジウム). 第43回日本救急医学会総会・学術集会; 2015 Oct 21-23; 東京.
- 45) 奥寺 敬. 長野オリンピックにおける救護救急体制とメディカルコントロール体制. 第1回日本救護救急学会学術集会; 2015 Oct 24; 東京.
- 46) 有嶋拓郎, 高橋 恵, 奥寺 敬. 深部静脈血栓症/肺塞栓症に対する包括的対策開始前後における病名記載の推移. 第10回医療の質・安全学会学術集会; 2015 Nov 22-23; 幕張.

#### ◆ その他

- 1) 奥寺 敬. 国際災害医療研修システム・エマルゴの動向. 久喜災害医療研修会; 2015 Feb 20; 久喜.
- 2) 奥寺 敬. アレルギーとアナフィラキシーショック、HAE(遺伝性血管浮腫). 糸魚川総合病院救急医療講演会; 2015 Mar 4; 新潟.
- 3) 奥寺 敬. 日本版蘇生ガイドラインと神経蘇生研修(ISLS). 徳島県立病院グランドカンファランス; 2015 Mar 6; 徳島. (特別講演)
- 4) 奥寺 敬. シミュレーション研修の最近の動向. 伊那中央総合病院シミュレーションセンター記念講演会; 2015 Jun 13; 伊那.
- 5) 奥寺 敬. 院内トリアージとJTASの動向. 秋田県第2回JTAS研修会; 2015 Jun 21; 秋田.